

# 2016年日本切手発行状況

小川義博

2016年は従来から問題の切手発行件数、種類数、変則的な切手関連品の発行等が更に顕著になったようだ。発行件数、種類数を表1に示すように59件643種類の発行と毎週1件10種類発行でも間に合わないという乱発である。そして2016年は今後に危惧されることがみられる。

## ◎変則的な切手の発行

昨年1件は切手帳として発行された小型シート、今年も切手帳と小型シートの意味を変えてしまうような切手発行が新しい名称も加え6件も出現したことである。特に、切手以外の付録とでもいうべき便せん、封筒、カード等に小型シートを付けたレターブック、販売品(郵便会社HPの表示)というものが出現し、来年以降も出現し続け

右・My旅切手レターブック付録? 切手帳

左・販売品2016ぼすくまおたよりセット付録? 小型シート

切手枚数で小型シート、切手帳にするのか。国際文通以外で初めて特殊切手の120円の切手が発行された。



表2 2016年発行切手帳、小型シート等一覧表

	通称	内容	切手種類	切手額面合計	売価
1	伊勢志摩サミット 小型シート	小型シート	2	1000	1300
2	2016 ぼすくまおたより セット専用小型シート	販売品	3	486	980
3	My 旅切手シリーズ 第1集 レターブック版	切手帳	5	388	2000
4	地方自治法施行60周年 記念シリーズ 切手帳	切手帳	47	3854	5000
5	日本の建築シリーズ第1集 切手帳 グリーティング JAPAN	切手帳	8	656	5800
6	切手帳 グリーティング JAPAN	切手帳	4	4000	8000
	合計		69	10384	23080

表1 2016年切手発行一覧

	通称	種類
1	地方自治法施行60周年記念シリーズ 切手帳	47
2	2016 グリーティング切手ドラえもん	20
3	My 旅切手シリーズ 第1集	20
4	グリーティング(ライフ・伝統色)	20
5	グリーティング切手 サンリオキャラクター	20
6	グリーティング切手「ミッフィー」	20
7	身近な動物シリーズ 第2集	20
8	身近な動物シリーズ 第3集	20
9	鉄道シリーズ 第4集	20
10	和の文様シリーズ 第1集	20
11	2016 グリーティング冬(ライフ・花)	15
12	2016 ハッピーグリーティング	14
13	2016 夏のグリーティング	12
14	2016 冬のグリーティング	12
15	2016 グリーティング ぼすくまと仲間たち	10
16	2016 グリーティング(ライフ・花)	10
17	2016 国土緑化	10
18	2016 切手趣味週間	10
19	おもてなしの花シリーズ 第5集	10
20	おもてなしの花シリーズ 第6集	10
21	ふみの目にちなむ郵便切手	10
22	伊勢志摩サミット	10
23	伊勢志摩サミット(関係関係会合シート)	10
24	簡易生命保険創業100周年	10
25	山の日制定	10
26	2016 秋のグリーティング	10
27	2016 春のグリーティング	10
28	世界遺産シリーズ<第9集>	10
29	2016 国民体育大会(岩手県)	10
30	天然記念物シリーズ 第1集	10
31	伝統的工芸品シリーズ 第5集	10
32	童画のノスタルジーシリーズ 第2集	10
33	童画のノスタルジーシリーズ 第3集	10
34	童画のノスタルジーシリーズ 第4集	10
35	日・シンガポール外交関係樹立50周年	10
36	日本・ベルギー友好150周年	10
37	日本イタリア国交150周年	10
38	日本の建築シリーズ 第1集	10
39	日本の城シリーズ 第6集	10
40	日本の夜景シリーズ 第2集	10
41	浮世絵シリーズ 第4集	10
42	浮世絵シリーズ 第5集	10
43	北海道新幹線(新青森・新函館北斗間)開業	10
44	野菜とくだものシリーズ 第6集	10
45	和の食文化シリーズ 第2集	10
46	「My 旅切手シリーズ 第1集 レターブック版	5
47	世界津波の日制定	5
48	正倉院の宝物シリーズ 第3集	5
49	地方自治法施行60周年記念シリーズ 東京都	5
50	地方自治法施行60周年記念シリーズ 福島県	5
51	2016 国際文通週間	4
52	星の物語シリーズ 第3集	4
53	星の物語シリーズ 第4集	4
54	切手帳 グリーティング JAPAN	4
55	年賀平成29年用	4
56	2016 ぼすくまおたよりセット専用小型シート	3
57	伊勢志摩サミット(小型シート)	2
58	海外グリーティング(差額用)	2
59	第99回ライオンズクラブ国際大会	1
	合計 59件	643種

と思われる。

表2にこれら切手帳を整理した。注意したいのがこれらを購入しなければ、年間発行切手の10%を越える69種の切手を手にできないということである。そのため、購入には切手のみ購入の場合の倍を越す金額が必要となっていることである。この金額が本年以上にならないことを収集家として願うのみである。参考までに643種購入必要金額は単純計算で52522円にもなり、更に前述した余分な金額等が求められたことになる。

◎種類、発行内容、料額別発行状況

切手の種類、発行目的別に整理したのが表3, 4である。例年と大きな違いは無いが記念切手の発行件数が再び2ケタになったことが目についた。また、発行種類数に比べて発行枚数に大きく増加が見られないのは小型シート、切手帳等の発行枚数が1桁と少ない結果である。

次に額面料額別に整理すると表5のようになった。今まで、日本国際切手展2011(小型シート)で発行された500円切手を超えて、普通切手にのみ発行されていた1000円切手が初めて特殊切手に発行された。

また、昨年初めて発行された92円の額面の

表3 切手種類別発行状況

切手種類	件数	発行種類	枚数(万枚)
ふるさと切手	5	77	2694
特殊切手	53	562	106780
年賀切手	1	4	3325
総計	59	643	112799

表4 発行内容別発行状況

発行内容	件数	発行種類	発行枚数(万枚)		
			枚数	1件平均	1種平均
グリーティング	15	182	45960	3064	17
シリーズ	27	325	47460	1702	9
記念切手	11	88	8454	4178	35
年賀切手	1	4	3325	45960	766
毎年発行	5	44	7600	9192	70
総計	59	643	112799	779	5

表5 額面料額別発行状況

額面	発行件数	発行枚数(万枚)
18円	2	160
52円	158	30871
55円	1	1245
70円	1	400
82円	465	78243
85円	1	128
90円	5	1000
110円	1	400
120円	2	8
130円	1	300
500円	2	4
1000円	4	40
総計	643	112799



2011年発行日本国際切手展2011(小型シート) 500円切手2種 各10万枚発行



2016年発行切手帳 グリーティング JAPAN 1000円切手4種 各10万枚発行



2016年発行切手伊勢志摩サミット(小型シート) 500円切手2種 各2万枚発行

2016年までに発行された高額面の特殊切手

特殊切手（2015 ハッピーグリーティング 10種）が発行されてなく、前述した 120 円額面の特殊切手が新たに発行され、なにか腑に落ちないものを感じる。

◎切手の印刷方式と印刷機関

印刷面では 38 年ぶりに単色の凹版切手が 8 種発行されたことが特記されるべきであろう。キッテ女子ではなく、高齢化した収集家を意識してであろうが、高齢収集家の年金に負担を強いる発行方法が気になる。印刷方式は表 6 のようにオフセット印刷で 90% が発行され、グラビア印刷で 10% という状況は例年と変化ない。

表 2 2016 年発行切手帳、小型シート等一覧表

印刷方式	発行枚数 万枚	割合
オフセット	95794	85%
オフセット・ホログラム	6700	6%
グラビア	7352	7%
グラビア・凸版	1373	1%
グラビア・凹版	1500	1%
凹版	80	0%
総計	112799	100%

次に、印刷機関で、今年は新たにフランスの Phil@poste 社が加わり 5 つの機関が切手を印刷していた。その印刷状況を整理すると表 7 のように、凸版印刷が突出して 63% を印刷していた。これを、詳しく見ると国立印刷局はグラビア印刷のみ行って、すべてのグラビア切手を印刷していた。凸版印刷の内容はシール切手と深くかわり、凸版印刷が印刷したシール切手は 21 件、279 種類、68146 万枚となり、2016 年シール切手全体 24 件、309 種類、80646 万枚の 90% に達している。

表 7 印刷機関別切手の印刷状況

印刷機関	件数	種類	発行枚数 (万枚)	%
Cartor Security Printing	14	120	21240	19%
エンスケデ社	3	22	2404	2%
フィラ・ポスト社	7	60	6600	6%
国立印刷局	10	130	11449	10%
凸版印刷	25	311	71106	63%
総計	59	643	112799	

さらに、フレーム切手の大半が凸版印刷で作成されていることを考慮するとき、切手の印刷の質に果す凸版印刷の役割を注意しなければならない。更に、シリーズ切手の童画のノスタルジーシリーズの印刷が 3 件発行され、すべて印刷機関が異なり他のシリーズとちがっているのは原画の雰囲気により印刷機関を変更したのかと考えるのは過ぎたることであるか。



童画のノスタルジーシリーズ

第 3 集  
林 明子 原画  
はじめてのおつかい  
Cartor Security Printing

第 4 集  
安野 光雅原画  
旅の絵本  
国立印刷局

◎過去 5 年の切手発行をふりかえる

2012 年郵便会社がスタートして 5 年、切手発行の変化から今後の切手発行を考える一助になればと、過去 5 年の切手発行状況をグラフにした。切手収集の参考にしていただければ幸いである。

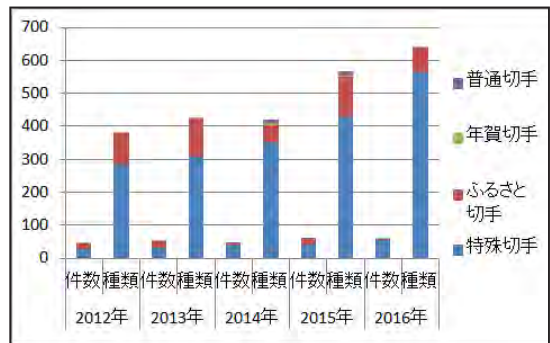


図 1 過去 5 年間の切手発行件数と種類数の推移

1 件当たりの発行種平均数が 8.6 から 10.1 になり、1 件の発行で複数のシート発行が増えてきていることが示されている。

地方自治法 60 周年記念のシリーズが 282 種の切手で終了して、来年からどんなシリーズが発行されるのか期待より危惧を感じる。

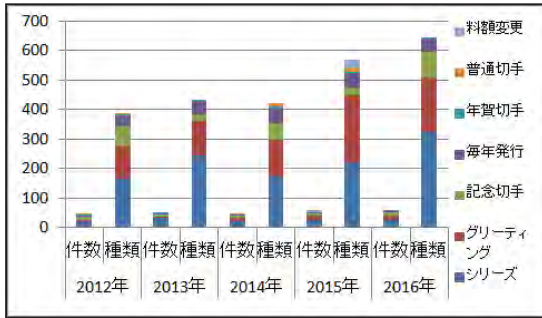


図 2 過去 5 年間の目的別発行件数と種類数の推移  
記念切手という言葉が消えてしまうシリーズ切手、グリーティング切手の発行増加が今後どのように変化するか。

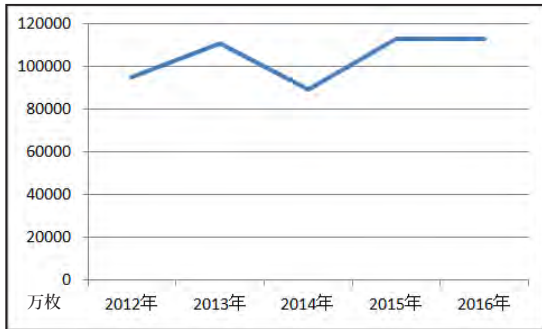


図 3 過去 5 年間の発行枚数の推移  
10 億枚を超えてこれ以上の増加はないであろうが種類の増加に比例しない数、少数枚数の小型シート、高額切手の発行が続くことを示してなければよいが。

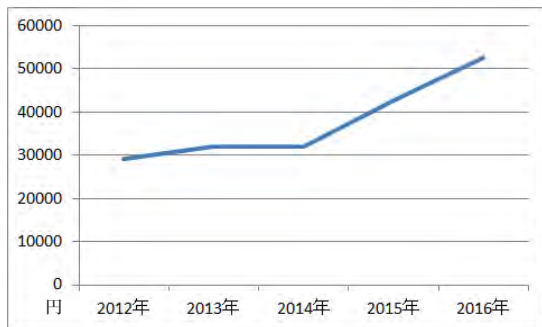


図 4 特殊切手購入必要金額の推移 (切手額面金額合計)  
実際には上記金額より 1 万円近く多くを要する日本切手の収集、選択肢を多くして自己防衛を図る収集の姿勢が必要となる。

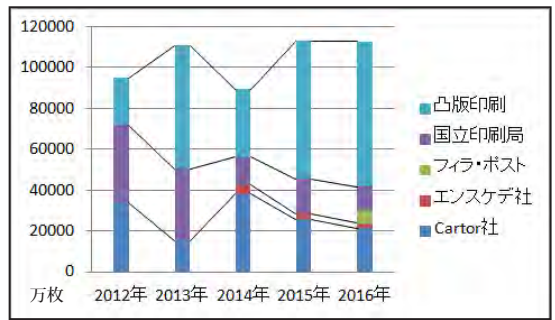


図 5 特殊切手印刷機関の推移

郵便会社移行以来印刷数が少なくなっている国立印刷局、近年は数件のグラビア、オフセット切手しか印刷しなくなった。そのうち、

普通、年賀切手シートにしか国立印刷局の銘版は見られなくなるのか。因みに、シール切手は 2008 年のグラビア印刷シール切手を最後に印刷されていない。今後、外国製の 2008 年国立印刷局印刷切手がどう増減するか興味がある。

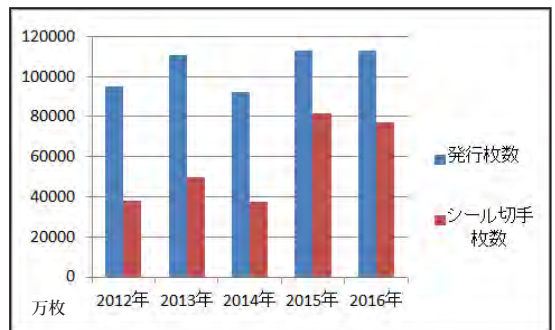


図 6 特殊切手印刷機関の推移 (印刷枚数)

特殊切手の発行量の 70% を占めるようになってきたシール切手。シート単位販売に限定されているのが、いつ希望枚数で購入できるようになるのか。そして、諸外国のように普通切手シール切手が希望枚数で購入でき、便利に郵便物に貼れる日はいつになるのか。まさかシール製造コストの要因が関係しているとは思いたくないが、1 日も早く、その日が来ることを期待したい。